

さくら耳
sakuramimi

ほくたくらねこです。





もう会った？さくらねこ

「さくらねこ」というのは耳先を桜の花びらの形にカットした猫のことです。
 「さくら耳」は不妊手術済のしるしです。

猫や鳥など身近な生きものの命を尊重できるかどうかは、人間社会の優しさのバロメーター。年間約8万頭といわれる日本の猫の殺処分数は、子どもの心への影響も大きい社会問題です。実際に保健所に持ち込まれる所有者不明猫の74%が離乳前の子猫という事実から、殺処分ゼロを実現するには猫ボランティアさん(猫にえさをあげ、お世話している人)たちに協力してもらって、捕獲器で捕まえ、協力獣医さんに不妊去勢手術をしてもらって、元の場所に戻すのが一番だと言われています。子猫を産まなければ殖えることもなく殺処分する必要もありません。また手術をした猫は夜中のさかり声やおしこの臭いもずいぶん少なくなり苦情も減ります。この時、この猫は不妊去勢手術済みですということが他の人にもわかり、同じ猫が何度も捕獲されないよう、麻酔中に獣医さんが耳先をさくらの花びらの型に少し切ります。これを「さくら耳」と言い、さくら耳の猫を「さくらねこ」といいます。さくら耳は、命の尊重と「この猫のうしろには世話をする優しい人がいる」というしるしです。地域の中で生きていくさくらねこのさくら耳は、厳しい現実社会に、人の心の温かさを灯しています。

会いにきて!さくらねこ

せっかく自由に生きているノラ猫を捕まえて、手術して耳まで切っちゃうなんて残酷な、という人もいます。でももっと残酷な殺処分十萬頭という現実が猫たちには迫っているのです。手間とお金を出してでも、猫たちに生きてほしいと思う人たちの心の現れ、「さくら耳のさくらねこ」。この思いが世の中で見えるようになることで、じっさいに殺処分される猫が減っています。

私たちは、保健所など、行政による犬や猫の殺処分ゼロをめざし、不幸な命を減らすために、毎年数千匹のさくらねこ無料不妊手術を行っています。しかし、殺処分ゼロを一日も早く実現するには、まだまだ力不足です。殺処分ゼロを実現するため、あなたのご支援が必要です。ご寄付で私たちの活動を支援してください。

公益財団法人どうぶつ基金 (コウエキザイダンハウジンドウブツキキン)

- 【振込先】
- 三井住友銀行 芦屋駅前支店 普通 4172198
 - 郵便為替 00230-8-72832

どうぶつ基金のホームページからクレジットカードもご利用できます。

かんたん
振り込み
QRコード

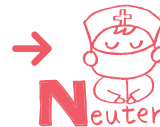


TNR (ティーエヌアール)

TNRは、トラップ(捕獲して)ニューター(不妊手術してさくら耳カット)リターン(元の場所に戻す)の略。どうぶつ基金では、TNR数千頭の実績を持つ獣医さんや専門スタッフが、ご相談を受け付けています。



捕獲して



不妊手術をしてさくら耳カット



元の場所に戻す